

都市再生整備計画

かわぞえしゅうへん
川添周辺地区

おおさかふ たかつきし
大阪府 高槻市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	大阪府	市町村名	たかつきし 高槻市	地区名	かわぞえしゅうへんちく 川添周辺地区	面積	107.6	ha							
計画期間	令和	7	年度	～	令和	10	年度	交付期間	令和	7	年度	～	令和	10	年度

<p>目標 すべての人々が、夢を育み、安心して暮らせる自治と共生のまちづくり</p> <p>目標1 全ての人にとって、楽しみや魅力があり、賑わいのあるインクルーシブな空間づくり</p> <p>目標2 高齢者が生涯にわたって活躍し、多世代交流等を通じて、地域課題の解決と子どもたちを見守り育てている環境づくり</p> <p>目標3 障がいの有無に関わらず、多様な主体が生き生きと活躍できる空間づくり</p> <p>目標4 多様な主体の参画による地域共生社会づくり</p>

<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>[概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市は、大阪・京都の中間に位置するベッドタウンとして発展した、人口約35万人の“中核市”である。 ・JRの新快速や阪急の特急停車駅であるJR高槻駅、阪急高槻駅周辺は、両駅を起点としたバス網が放射状に形成される公共交通の結節点であり、駅を中心に商店街や百貨店といった中心市街地が形成され、公共施設や高度医療機関及び教育施設等が立地し、市の中心拠点として機能している。 <p>[都市全体の再編方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市は、昭和40年に約13万人だった人口が昭和50年には約33万人となり、全国的にも稀にみる人口急増を経験し、市街地が北部丘陵地など郊外に拡大してきた。しかし、その後約50年が経過し、高齢化率が全国平均や近隣市よりも高く、人口も平成7年の約36万人をピークに緩やかに減少に転じている。将来的には、少子高齢化の更なる進展等による、経済状況の悪化や福祉課題の多様化・複雑化など、本市を取り巻く状況が厳しさを増していく。 ・このような中、持続可能な都市経営を確保するため、都市機能が充実した魅力ある都市拠点を形成することと合わせ、人々の生活の中心が職場から地域に移っていくなかで、地域の力を高め、高齢者にとっても子育て世代にとっても安心できる快適な生活環境を実現していくことが喫緊の課題となっている。 ・こうしたことから、第6次高槻市総合計画・高槻市都市計画マスタープランにおいて、誰もが住みやすく、人等の動きを活発にする対流を生み出し、都市の活力を衰退させない持続可能な都市づくりに取り組むため「コンパクトシティ・プラス・ネットワークへの取組の推進」を掲げている。 ・さらに、第2期高槻市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、人口減少に対応した効率的でコンパクトなまちづくりの方向性を示し、「時代に合った地域をつくり、安全・安心なまちをつくる」目標を掲げ、地域共生社会の実現等をうたっている。 <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>【まちづくりの経緯】</p> <p>当該区域は、人口急増期に働く世代の人やその子供の住居として開発が進み発展してきた地域である。もともとは一つの小学校から人口増加に合わせて派生していった経緯もあり、コミュニティとしてのつながりも強く、現在でも祭りや文化祭などの地域活動が活発な地域である。</p> <p>[現況]</p> <p>人口急増期に働く世代を中心に定住化が進んだ地域であるため、それから約50年が経過し、住民の平均年齢は市内平均を上回っており、また、単独世帯が増加している。</p> <p>課題</p> <p>[課題]</p> <p>人口急増期に、大都市圏で働く人とその子どもたちの住居と、その人たちの暮らしを支えるサービス業を中心に発展してきた当該地区では、人口急増期から約50年が経過し、高齢化により、日中を住居の近くで過ごす地域住民が増えている一方で、経済活力の低下や、外出機会の減少、地域コミュニティや商店街の活力減退などの課題が表面化しつつあります。</p> <p>地域コミュニティ等の担い手も高齢化が進むなか、人間関係の希薄化などで、担い手の確保が困難な状況にあり、地域の力が弱まっていく方向にある。</p> <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p><第6次高槻市総合計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 都市機能が充実し、快適に暮らせるまち、2 安全で安心して暮らせるまち、3 子育て・教育の環境が整ったまち、4 健やかに暮らし、ともに支え合うまち、5 魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち、6 良好な環境が形成されるまち、7 地域に元気があって市民生活が充実したまち、8 効果的・効率的な行財政運営が行われているまち <p><高槻市都市計画マスタープラン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高槻の玄関口にふさわしい風格と魅力ある都市空間の形成 <p><高槻市立地適正化計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」による誰もが住みやすく活力のあるまちの実現 <p><まち・ひと・しごと創生総合戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住みたい・住み続けたい定住魅力のあるまちをつくる ・わか世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる ・時代に合った地域をつくり、安全・安心なまちをつくる <p><第4次地域福祉計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての人々が夢を育み、安心して暮らせる自治と共生のまちづくり ・地域共生社会の実現

都市構造再編集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

駅から少し離れた住居系地域において、人口減少、少子高齢化の中でも、誰もが暮らしやすい街のモデル空間整備として、地域を元気にしていく地域活性化拠点を整備する。
 具体的には、新設する川添周辺地区の中心地に広場、建物(地域交流センター)、駐車場等を整備し、誰もが自然と集まることのできる広い空間や、訪れた人たちが長い時間過ごせるようにカフェやベーカリー等の生活利便施設を設けるとともに、近隣の商店街等とも連携した魅力的なソフト事業展開を実施し、にぎわいの創出と地域活性化に取り組む。
 また、積極的なICT活用等により、世代や属性を超えて地域住民等がつながり合い、それぞれが楽しく、活躍・交流できる場所として、インクルーシブな地域社会の創造を推進する。

居住誘導方針の考え方 ※居住誘導促進事業を活用する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市再生土地区画整理事業や市街地再開発事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。
 ・該当なし

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

都市再生土地区画整理事業や都市・地域交通戦略推進事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内人口減少率	%	5年間の地区内人口減少率 従前値：(H31.3～R.6.3) 目標値：(R7.3～R12.3)	基幹事業を推進することにより、地域のポテンシャルを向上させ、全ての人にとって、楽しみや魅力があり、賑わいのあるインクルーシブな空間を創出し、人口誘導を図り、地区内人口減少率の減少を目指す。	-6.4%	R5年度末	-6.4%	R11年度
地区内交流人口数	人/年	寿栄コミュニティセンター、玉川牧田コミュニティセンター、芝生老人福祉センター、(仮称)地域共生センターの利用者数	基幹事業を推進し、多様な主体が生き生きと活躍できる空間創出することにより、地域コミュニティ活動を活性化させ、地区内の交流人口の増加を目指す。	54,447	R4年度	155,000	R11年度
市民企画インクルーシブイベント実施回数	回/年	誰もが参加でき、かつ交流が創出されるような市民企画イベントの年間実施回数	基幹事業の推進や情報発信により、多様な主体の参画による地域共生社会の創出を目指す。	0	R6年度	12	R11年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【すべての人々が、夢を育み、安心して暮らせる自治と共生のまちづくり】 【全ての人にとって、楽しみや魅力があり、賑わいのあるインクルーシブな空間づくり】 【高齢者が生涯にわたって活躍し、多世代交流等を通じて、地域課題の解決と子どもたちを見守り育てていける環境づくり】 【障がいの有無に関わらず、多様な主体が生き生きと活躍できる空間づくり】 すべての人が自由に過ごし、また様々なイベントが実施できる公園的空間を整備するとともに、交流や多様な主体の活躍の核となる公共施設(地域共生センター)を整備する。 地域交流センター 日常的に訪れることができるカフェ、ベーカリーをICTを活用して障がい者の新たな就労機会の創出にも寄与。 誰もが自由に過ごし、子どもたちの自習スペースにも使える広いホール。 通信機器を活用したパラアスリート訓練室、障がい者アートギャラリー。 移動困難者でも家族や仲間と旅行気分が楽しめるXR対応室等を整備。また、多目的に使える貸室は、災害時にクラフトルームやキッチンスタジオとあわせて、移動困難者に向けた一時避難所としても機能する</p>	<p>【高次都市施設】 (仮称)地域共生センター</p> <p>【地域生活基盤施設】 ・インクルーシブ広場 ・案内板</p> <p>【道路】 ・川添105号線ほか1路線</p> <p>【高質空間形成施設】 ・川添105号線ほか1路線</p>
<p>【多様な主体の参画による地域共生社会づくり】 ・多様な主体で構成する地域共生ステーションミーティングを組織し、市や指定管理者、市民等で協働してイベント企画やソフト事業展開を行うため、様々な形で使用することのできる空間を屋外・屋内に備える。</p>	<p>【高次都市施設】 ・(仮称)地域共生センター</p> <p>【地域生活基盤施設】 ・インクルーシブ広場</p>
<p>その他</p>	
<p>○住民参加型のまちづくりの推進 ・(仮称)地域共生センター等を整備するにあたり、地域住民への説明会やワークショップを開催し、地域住民と共同によるまちづくりを推進しております。 運営フェーズに入ってから、(仮称)地域共生ステーションミーティングを設置を予定しており、地域課題・福祉課題の共有や、運営側と連携したイベントの企画立案などの地域住民と共同によるまちづくりを推進していくものです。</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	2,690.5	交付限度額	1,211.0	国費率	0.45
---------	---------	-------	---------	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費	費用便益比 B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		川添105号線ほか1路線	高槻市	直	320m	R6	R10	R7	R10	334.1	321.9	321.9	0.0	321.9	-
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	広場	インクルーシブ広場	高槻市	直	約2.3ha	R7	R10	R7	R10	1,410.5	1,410.5	1,410.5	0.0	1,410.5	-
地域生活基盤施設	情報板	案内板設置(居住誘導区域)	高槻市	直	1基	R10	R10	R10	R10	2.7	2.7	2.7	0.0	2.7	-
地域生活基盤施設	情報板	案内板設置(都市機能誘導区域)	高槻市	直	2基	R10	R10	R10	R10	5.5	5.5	5.5	0.0	5.5	-
高質空間形成施設		川添105号線ほか1路線	高槻市	直	320m	R6	R10	R7	R10	21.4	21.4	21.4	0.0	21.4	-
高次都市施設	地域交流センター	(仮称)地域共生センター	高槻市	直	4,990㎡	R7	R10	R7	R10	3,505.5	928.5	928.5	0.0	928.5	-
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	賑わい・交流創出施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業	高次都市施設														
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
合計										5,279.7	2,690.5	2,690.5	0.0	2,690.5	-

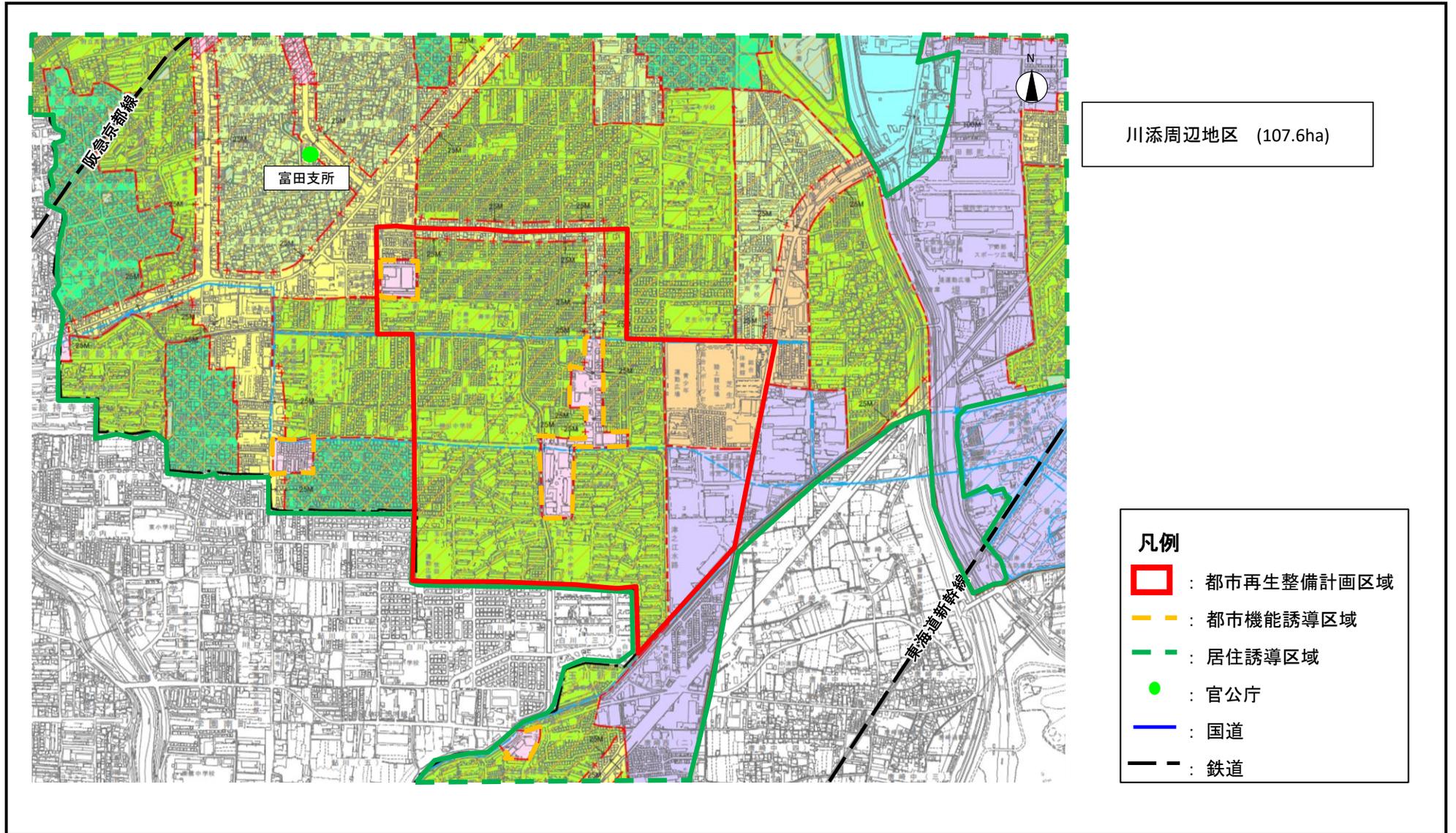
…A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業															
事業活用調査															
まちづくり活動推進事業															
合計										0	0	0	0	0	0

…B

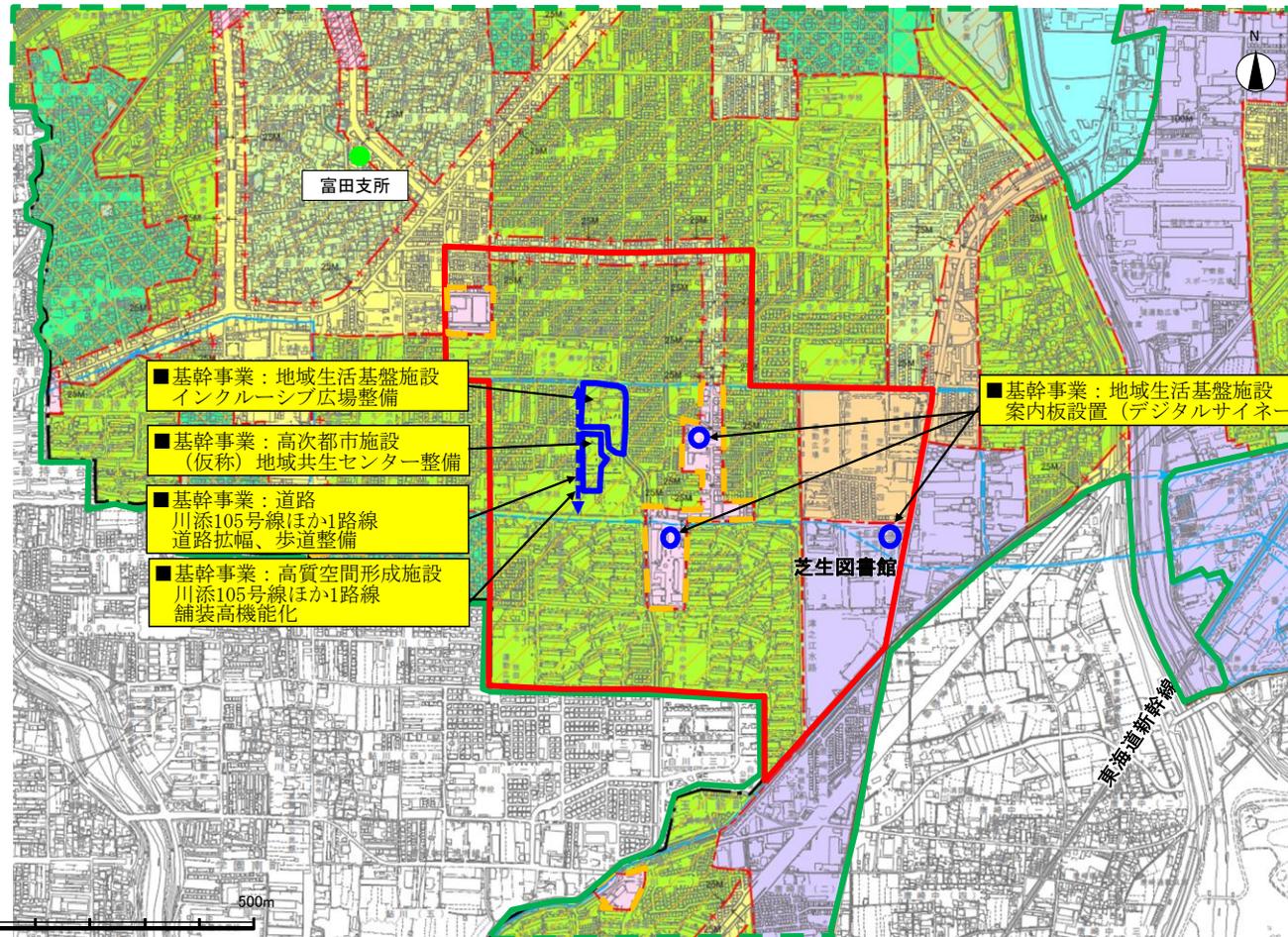
川添周辺地区(大阪府高槻市)

面積	107.6 ha	区域	芝生町四丁目、栄町二丁目、栄町三丁目、栄町四丁目、川添一丁目、川添二丁目、北柳川町、牧田町
----	----------	----	---



川添周辺地区(大阪府高槻市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	目標1 全ての人のため、楽しみや魅力があり、賑わいのあるインクルーシブな空間づくり	代表的な指標	地区内人口減少率 (%)	-6.4%	(R5年度末) →	-6.4%	(R11年度)
	目標2 高齢者が生涯にわたって活躍し、多世代交流等を通じて、地域課題の解決と子どもたちを見守り育てていける環境づくり		地区内交流人口数 (人/年)	54,447	(R4年度) →	155,000	(R11年度)
	目標3 障がいの有無に関わらず、多様な主体が生き生きと活躍できる空間づくり		市民企画インクルーシブイベント実施回数 (回/年)	0	(R6年度) →	12	(R11年度)
	目標4 多様な主体の参画による地域共生社会づくり						



- 基幹事業：地域生活基盤施設
インクルーシブ広場整備
- 基幹事業：高次都市施設
(仮称) 地域共生センター整備
- 基幹事業：道路
川添105号線ほか1路線
道路拡幅、歩道整備
- 基幹事業：高質空間形成施設
川添105号線ほか1路線
舗装高機能化

■ 基幹事業：地域生活基盤施設
案内板設置 (デジタルサイネージ)

凡例

- : 都市再生整備計画区域
- : 都市機能誘導区域
- : 居住誘導区域
- : 国道
- : 鉄道
- : ■ 基幹事業
- : □ 提案事業
- : ○ 関連事業